



「何度転んでも また起き上がればいい」 人生に勇気をあたえてくれる絵本

「松山リハビリテーション病院 高次脳機能障害自助グループえこまち（愛媛県）は、事故や病気等で体にハンデをおったみなさんが結成したボランティアグループで、読み聞かせやピアノなどの楽器演奏、英語、手話歌などの特技を生かし、演奏・英訳付きの読み聞かせライブ活動を行っています。

同グループ代表のsolae（ソラ）さんは、自身の体験をもとに絵本『起き上がり小法師』を出版しました。事故で手足が不自由になった主人公が、起き上がり小法師のように生きようと誓うお話です。読み終わったあと、あなたに明日への力が沸き起こること間違いなし！ 嬉しいことに、長く親切運動の会員である日本児童教育専門学校（東京都）の卒業生です。

メッセージ

事故に遭い脳に障害を抱えた時、牧師から「これはね、何度でも起き上がるんですよ」と手渡された小さな人形。福島県の郷土玩具、起き上がり小法師との出会でした。医師やスタッフ、同じ障害を抱える仲間たちとの出会いに恵まれ、ふと小さな物語が生まれました。そして、たくさんの出会いとお支えのお陰で、絵本を出版することが出来ました。

お一人でも多くの方たちの手に取っていただいて、優しさ、愛、励まし、勇気、希望などお届けできれば嬉しいです。

また、自分たちの物語として発表する機会を得て、愛媛県本部（事務局：伊予銀行）より、「小さな親切」実行章をいただきました。

これからも仲間たちと一緒に、ゆっくり前向きに“出来ること探し”を続けて参ります。



solae（ソラ）さんと絵本